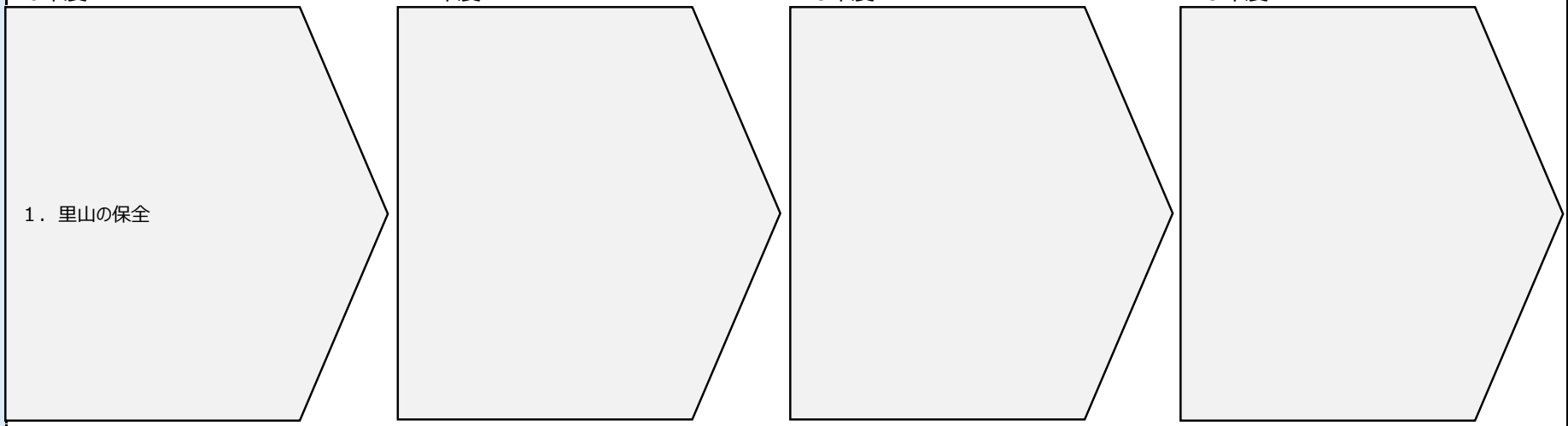
施策シート【23_01】

観光にぎわい部、土木部

施策名称	**里山など豊かな自然空間の保全・継承**	
総合計画体系	基本目標等	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち
	施策目標等	23.豊かな自然環境を大切にするまち
めざす姿（主観的満足度）		里山や農地などの豊かな自然環境が保全されている
概要		里山など豊かな自然空間の保全・継承を図る。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【23_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、土木部

施策名称	里山など豊かな自然空間の保全･継承

１．里山の保全

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
･里山講座（森林ボランティア育成事業）の開催。 ･里山保全活動の推進。	･里山講座の開催 ･竹林整備･植物観察会（春･秋）等の開催 ･里山保全活動８団体が実施する東部地域の里山保全活動を支援	継続	･継続 ･里山保全作業道等補修実施設計 ･里山保全基本計画の改定	･継続 ･里山保全作業道等補修工事	農業振興課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
これまでの取組を継続して実施するとともに、持続的な里山保全の担い手の確保に向けて、若い世代へのアプローチ手法を検討する。ローカル10,000プロジェクトとの連携により、担い手の確保を目指す。	里山講座や植物観察会（春・秋）の開催など、里山の自然や保全活動に触れる機会を設けた。また、申請のあった保全活動団体４団体に対して支援。	里山講座の修了生向けフォローアップ講座や植物観察会（春・秋）の開催など、里山の保全活動などに触れる機会を設けた。また、申請のあった里山保全活動団体3団体に対して支援。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【23_01】ー 施策指標

観光にぎわい部、土木部

施策名称	里山など豊かな自然空間の保全・継承

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
森林ボランティア育成講座修了者数（累計）	森林ボランティア育成講座の受講者のうち規定の日数に出席し修了証を取得した人数（累計）	430	450	470	490	人	農業振興課	1．里山保全事業
各年度の実績		416	416			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和6年度の里山講座の受講者が7名と少なく、修了証を取得した人数は目標の20人に対して6人となった。なお、累計には、森林スペシャリスト育成講座(H30~R2)の修了者数を含んでいる。								
【施策指標の分析 R7】 令和7年度の里山講座について、連続講座には参加者が集まらず、開催に至らなかった一方、令和6年度以前の修了生を対象にフォローアップ講座を開催し、里山保全団体の新設に向けた働きかけを行った。								
里山保全活動団体の活動日数（累計）	東部地域で活動する里山保全活動団体の年間活動日数（累計）	4,600	4,800	5,000	5,200	日	農業振興課	1．里山保全事業
各年度の実績		4,736	4,968			日	備考	
【施策指標の分析 R6】 里山保全活動補助金の実績報告により把握。								
【施策指標の分析 R7】 里山保全活動補助金の実績報告で把握予定								
整備後の里山保全作業道を利用して里山保全活動に取り組む団体の数	整備後の里山保全作業道を利用して里山保全活動に取り組む団体の数	-	-	-	1	団体	農業振興課	1．里山保全事業
各年度の実績		-	-			団体	備考	
【施策指標の分析 R6】 —								
【施策指標の分析 R7】 —								

施策シート【23_01】ー 施策指標

観光にぎわい部、土木部

施策名称	里山など豊かな自然空間の保全・継承

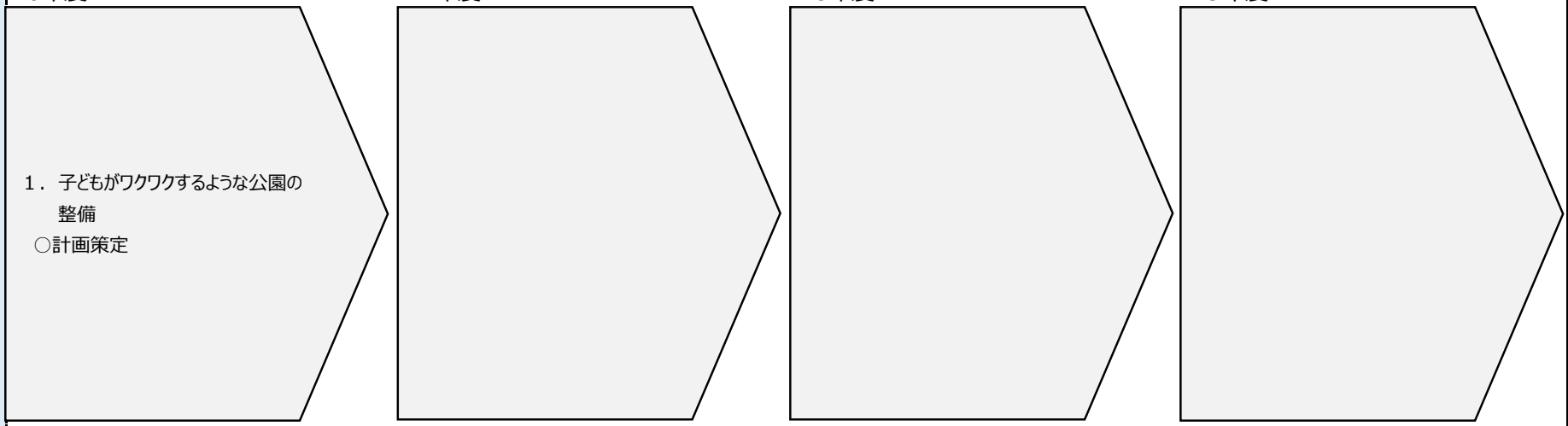
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
緑地面積	都市公園やそれに準じる施設、緑地保全地域などの法律や条例などで土地利用を管理して確保する緑地など、将来にわたって確保される可能性の高い担保性のある緑地面積	1,529	1,532	1,532	1,533	ha	公園みどり課	-
各年度の実績		1,532	1,530			ha	備考	
【施策指標の分析 R6】 生産緑地が過年度より増加していた。								
【施策指標の分析 R7】 都市公園が昨年度より増加したものの、生産緑地の減少による影響が大きかった。								

施策シート【24_01】

土木部

施策名称	**自然とふれあい親しめる場の確保**	
総合計画体系	基本目標等	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち
	施策目標等	24.まちなかのみどりを育てるまち
めざす姿（主観的満足度）		普段の生活の中でみどりとふれあえる
概要	自然とふれあい親しめる場の確保を図る。	

計画期間中の実施予定時期



施策シート【24_01】ー 具体的な取り組み

土木部

施策名称	自然とふれあい親しめる場の確保

１．子どもがワクワクするような公園の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
公園に幼児用遊具や休憩施設等を設置し、親子が安全で落ち着いて遊べる空間づくりを推進。	・利用者ニーズの把握、遊具整備に向けた計画策定 ・設計 ・連携事業の検討	・連携事業の実施 ・改修工事（車塚公園） ・詳細設計（次年度以降工事予定の公園） ※王仁公園の遊具更新（公園長寿命化事業） ・中振中央公園のB/Cの検討	継続 ・改修工事（伊加賀公園・王仁公園） ・中振中央公園の用地取得	継続 ・改修工事（３公園予定） ・中振中央公園の用地取得	公園みどり課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
主な利用者となる未就学児の保護者や小学生に加え一般市民も含めたアンケート調査を行い、ニーズを把握行った。結果に基づき、遊具、バリアフリートイレ、休憩施設等を順次、整備していく。	・利用者ニーズの把握、遊具整備に向けた計画策定 ・設計 ・連携事業の検討	・車塚公園・王仁公園に大型複合遊具などを整備・更新 ・次年度以降の詳細設計 ・中振中央公園のB/Cの算定			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【24_01】ー 施策指標

土木部

施策名称	自然とふれあい親しめる場の確保

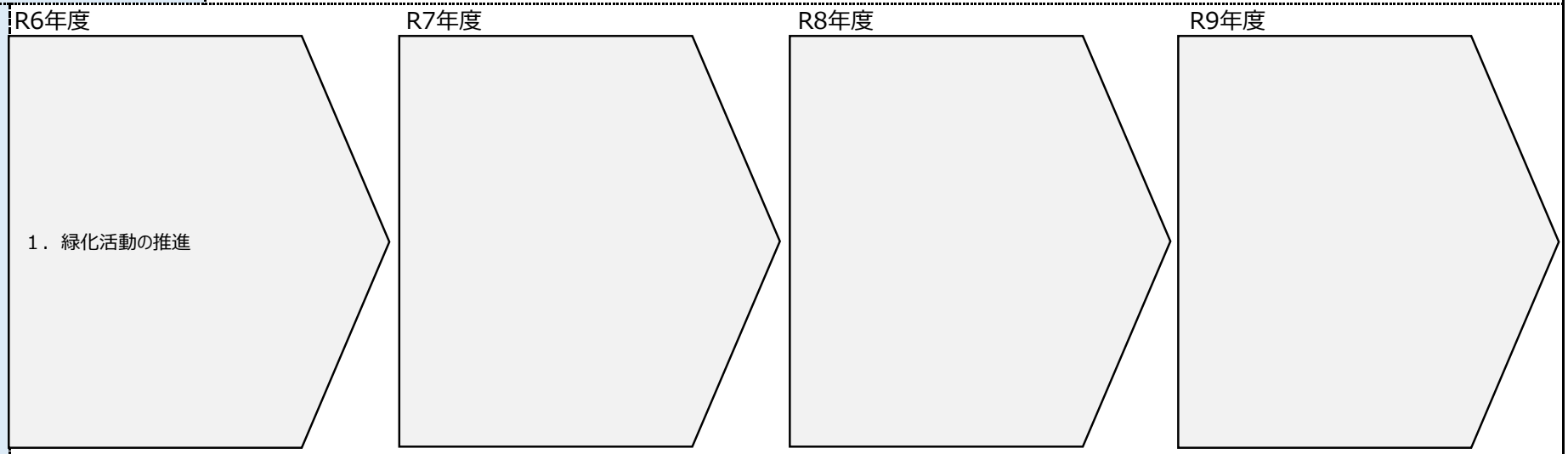
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
親子で楽しめる遊び場等のある公園の整備数	公園整備数	0	3	3	2	公園	公園みどり課	１．公園への幼児や親子が遊べる遊具等の設置
各年度の実績		0	2			公園	備考	
【施策指標の分析 R6】 今年度は、次年度以降の整備に向けて、計画策定・設計等を行った。 来年度以降は、整備（設計・工事）に取り組んでいく。								
【施策指標の分析 R7 車塚公園に大型複合遊具と幼児用コーナーを整備。王仁公園では幼児用コーナーと複合遊具を改修を行った。また、次年度以降に整備・改修を行うための実施設計を行った。								

施策シート【24－02】

土木部

施策名称	**緑化活動の活性化**	
総合計画体系	基本目標等	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち
	施策目標等	24.まちなかのみどりを育てるまち
めざす姿（主観的満足度）		普段の生活の中でみどりとふれあえる
概要	まちなかのみどりや、子育て世帯など幅広い世帯の人々にとっての憩い野場となる公園、河川敷などの緑地空間を守る。	

計画期間中の実施予定時期



施策シート【24－02】－ 具体的な取り組み

土木部

施策名称	緑化活動の活性化

１．緑化活動の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
緑化活動の推進	公共・公益施設整備基準で定められている基準等に基づき協議を実施	継続	継続	継続	公園みどり課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
多くの市民の目に触れる位置にみどりを配置するなど、効率的な緑化を積極的に取り組む。	緑地面積は過年度より増加した。今後も緑化推進を継続して取り組む。	緑地面積は過年度より微減した。今後も緑化推進を継続して取り組む。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【24－02】－ 施策指標

土木部

施策名称	緑化活動の活性化

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
緑地面積	都市公園やそれに準じる施設、緑地保全地域などの法律や条例などで土地利用を管理して確保する緑地など、将来にわたって確保される可能性の高い担保性のある緑地面積	1,529	1,532	1,532	1,533	ha	公園みどり課	1．緑化活動の推進
各年度の実績		1,532	1,530			ha	備考	
【施策指標の分析 R6】 生産緑地が過年度より増加していた。								
【施策指標の分析 R7】 都市公園が昨年度より増加したものの、生産緑地の減少による影響が大きかった。								

施策シート【24－02】－ 施策指標

土木部

施策名称	緑化活動の活性化

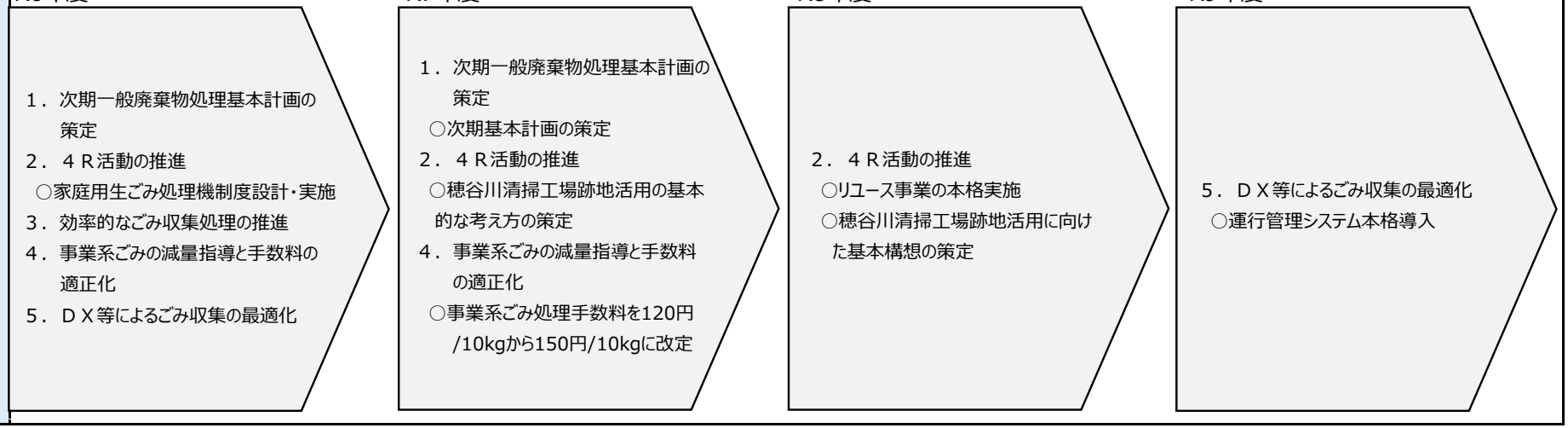
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
各年度における街路樹延長距離	市道の緑化済道路延長距離	0	858	80	0	m	道路河川整備課	-
各年度の実績		0	858			m	備考	
【施策指標の分析 R6】 都市計画道路整備による街路樹の設置がなかった。								
【施策指標の分析 R7】 牧野長尾線（長尾大池工区）・長尾杉線（長尾工区）の供用開始により街路樹延長が伸びた。							※目標整備延長は算出ミス。（目標値の重複計上を修正）	

施策シート【25_01】

環境部

施策名称	**ごみ発生抑制を最優先にした４Rの推進**	
総合計画体系	基本目標等	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち
	施策目標等	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち
めざす姿（主観的満足度）		ごみ減量や資源循環が進んでいる
概要		循環型社会の形成に向け、ごみの発生抑制に取り組みます。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【25_01】－ 具体的な取り組み

施策名称	ごみ発生抑制を最優先にした４Rの推進

１．次期一般廃棄物処理基本計画の策定

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
次期一般廃棄物処理基本計画を策定し、資源循環施策を推進。	次期基本計画に盛り込む施策等の検討	・廃棄物減量等推進審議会へ諮問 ・次期基本計画の策定	－	－	循環型社会推進課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・策定した第２次枚方市一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみ発生抑制を最優先にした４Rを推進していく。	次期基本計画に盛り込む施策等について、調査研究を行い検討を進めた。	・廃棄物減量等推進審議会へ諮問し、答申を受けた。 ・第２次枚方市一般廃棄物処理基本計画を策定した。			
年度ごとの達成状況	○	◎			

施策シート【25_01】－ 具体的な取り組み

環境部

施策名称	ごみ発生抑制を最優先にした４Ｒの推進

２．４Ｒ活動の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・事業者と連携することにより、食品を必要とする団体等に無償で譲渡するフードドライブを実施。 ・家庭用電気式生ごみ処理機の購入補助制度を導入し、生ごみの減量を推進。 ・粗大ごみから選別した再生可能なリユース品や、市民から提供されたリユース品の受付、保管及び展示、譲渡・販売等を行い、再利用の推進による４Ｒの普及啓発を図る。 ・資源となる鉄類等の再資源化を推進。 ・再生資源集団回収報償金制度の見直し。 ・公共施設に給水スポットを設置し、自宅から飲料を持参するところからさらに１歩進んだ行動変容を引き起こす。 ・ごみ焼却場としての役割を終える穂谷川清掃工場について、跡地活用に向けた取組みを推進。	・フードドライブの実施 ・家庭用生ごみ処理機制度設計・実施 ・リユース事業実証実験 ・ごみの再資源化 ・再生資源集団回収報償金普及・啓発、提出様式の見直し・WEB申請の検討	・再生資源集団回収報償金様式改訂、報償金の見直しの検討 ・ごみの再資源化 鉄類等のさらなる再資源化 ・給水スポットの設置・検証 ・穂谷川清掃工場跡地活用の基本的な考え方の策定	・再生資源集団回収報償金様式改訂、報償金の見直しの検討 ・家庭用生ごみ処理機補助制度の要綱等の見直しの検討 ・家庭用生ごみ処理機 補助制度の検証 ・リユース事業本格実施 ・穂谷川清掃工場跡地活用に向けた基本構想の策定	継続 ・建築計画の検討・既存施設の解体設計・土壌汚染調査	環境政策課、循環型社会推進課、穂谷川資源循環センター
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・循環型社会を構築するために、市民・事業者の４Ｒ（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）の意識を醸成する必要がある。 ・引き続き、ごみの発生抑制を最優先に、4Rの取り組みを推進する。 ・穂谷川清掃工場の跡地活用について引き続き検討を進める。	・事業者と連携してフードドライブを実施した。 ・家庭用電動生ごみ処理補助制度を実施した。 ・事業者と連携してリユース事業の実証実験を実施した。 ・分別収集や選別処理により、排出されたごみから資源物を回収し、リサイクルを実施した。 ・再生資源集団回収報償金制度の普及・啓発を実施するとともに、登録内容の変更等の手続きにWEB申請を導入した。	・再生資源集団回収報償金様式改訂、報償金の見直しの検討を進めた。 ・分別収集や選別処理により、排出されたごみから資源物を回収し、リサイクルを実施した。 ・市が処理しないごみとしていた一部の金属製品の受け入れを開始し、鉄類等の再資源化を促進した。 ・KTM河本工業総合体育館（市立総合体育館）に給水スポットの設置し、利用量などを調査した。 ・「穂谷川清掃工場跡地活用の基本的な考え方」を策定した。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策名称	ごみ発生抑制を最優先にした４Rの推進

３．効率的なごみ収集処理の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
平成31年1月に策定した「ごみ収集業務体制見直し実施計画」に基づき、令和6年度を最終年度とし、段階的に一般ごみ収集業務の委託化を進め、2人乗務体制に変更。	直営車両５台を委託化し、２人乗務に変更 ※　委託率80%	－	－	－	環境事業課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
人件費等、物価高騰に伴う委託料の増加 一般ごみ収集業務委託の継続	「ごみ収集業務体制見直し実施計画」に基づく一般ごみ収集業務の委託化及び2人乗務体制を完了　※委託率80%	ー			
年度ごとの達成状況	◎				

施策シート【25_01】－ 具体的な取り組み

施策名称	ごみ発生抑制を最優先にした４Rの推進

４．事業系ごみの減量指導と手数料の適正化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
事業系ごみの減量指導を行うとともに、廃棄物処理法による排出事業者責任の考え方に基づき、ごみ処理原価に一致したものとなるよう事業系ごみ処理手数料の適正化を推進。	多量排出事業者への減量指導	多量排出事業者への減量指導、事業系ごみ処理手数料を120円/10kgから150円/10kgに改定	継続	継続	循環型社会推進課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・事業者が食品ロスの削減等のさらなる4Rに取り組めるような、施策が必要である。 ・引き続き、多量排出事業者への立入指導を行うとともに、一般廃棄物収集運搬許可業者と連携した事業系ごみ減量・リサイクルの取り組みを進める。	多量排出事業者に対して一般廃棄物管理責任者の選任及び事業系一般廃棄物減量等計画書の提出を求めた。また、一部の事業者に立入を行い、ごみの排出状況や減量やリサイクルの取り組みの状況を確認し、助言や指導を実施した。	・多量排出事業者に対して一般廃棄物管理責任者の選任及び事業系一般廃棄物減量等計画書の提出を求めた。また、一部の事業者に立入を行い、ごみの排出状況や減量やリサイクルの取り組みの状況を確認し、助言や指導を実施した。 ・令和7年12月1日から事業系ごみ処理手数料を改定（120円/10kg→150円/10kg）。令和7年8・9月に排出事業者へ周知リーフレットを配布、その他、広報ひらかた、HP及びSNSにて事前に周知を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【25_01】－ 具体的な取り組み

環境部

施策名称	ごみ発生抑制を最優先にした４Rの推進

５．ＤＸ等によるごみ収集の最適化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ごみ収集業務において効率的な収集データ等の管理を行う運行管理システムを導入。	・システムの構築	・資源収集車両8台による２年間のシステム実証開始 ・機能の確認とデータ管理の構築 ・仕様書作成 ・積算資料作成	・新コースや前年度のデータ移行に問題が無いか検証 ・システム全般の最終確認 ・予算確保 ・システム更新	運行管理システム本格導入	環境事業課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
R9年度の本格導入に向け様々な角度から運行管理システムの検証を行う。	・関係各課との調整済 ・システム会社との綿密な打ち合わせを行った。	システム導入に向け実証を実施するとともに、検証内容を踏まえた仕様書を作成した。また、積算資料作成のため参考見積徴取を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【25_01】－ 施策指標

環境部

施策名称	ごみ発生抑制を最優先にした４Rの推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
４Rの推進	生ごみの減量・減容に取り組む市民の数（延べ人数）	44	132	280	308	人	循環型社会推進課	２．４Ｒ活動の推進
各年度の実績		126	235 （当年度109）			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和6年度の目標値を達成した。 引き続き、生ごみ堆肥講習会や家庭用電気式生ごみ処理機購入補助事業等により、４Rの推進に取り組んでいく。								
【施策指標の分析 R7】 令和7年度の目標値を達成した。 引き続き、生ごみ堆肥講習会や家庭用電気式生ごみ処理機購入補助事業等により、４Rの推進に取り組んでいく。								
家庭部門における温室効果ガス排出量(t-CO2)の削減量	ペットボトル（500mL）の使用削減による家庭部門における温室効果ガス排出量(t-CO2)の削減量	－	CO2換算 1.19t-CO2 (削減量 10000本)	CO2換算 1.43t-CO2 (削減量 12000本)	CO2換算 1.43t-CO2 (削減量 12000本)	t-CO2	循環型社会推進課	２．４Ｒ活動の推進
各年度の実績		－	CO2換算 1.40t-CO2 (削減量 11800本)			t-CO2	備考	
【施策指標の分析 R6】 公共施設に給水機を設置することで、プラスチックごみの削減を図り、家庭部門における温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいく。								
【施策指標の分析 R7】 令和7年度の目標値を達成した。 給水機をより多くの市民に活用していただけるよう周知活動に取り組んでいく。								

施策シート【25_01】ー 施策指標

施策名称	ごみ発生抑制を最優先にした４Rの推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
多量排出事業者数	事業活動に伴って月平均2.5トン以上の一般廃棄物を排出する事業者の数	80	79	78	77	社	循環型社会推進課	４．事業系ごみの減量指導と手数料の適正化
各年度の実績		80	73			社	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和6年度の目標値を達成した。 引き続き、多量排出事業者への減量指導に取り組んでいく。								
【施策指標の分析 R7】 令和7年度の目標値を達成した。 引き続き、多量排出事業者への減量指導に取り組んでいく。								

施策シート【25_01】ー 施策指標

施策名称	ごみ発生抑制を最優先にした４Rの推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
ごみ収集管理に係る業務時間数	収集時間、走行距離、回送距離、作業時間、間違いごみ内容等の記録のデータ化、委託車両の巡視等に係る業務時間数	7,472	6,986	6,986	0	時間	環境事業課	５．ＤＸ等によるごみ収集の最適化
各年度の実績		7,472	6,986			時間	備考	
【施策指標の分析 R6】 ・セキュリティー関連については、DX推進課指導のもと適切に対応出来た。 ・今後は運行管理システムの本格導入に向け検証を進めていく。								
【施策指標の分析 R7】 ・データ入力に係る時間が削減され令和7年度の目標を達成した。 ・引き続き、運行管理システムの本格導入に向け検証を進めていく。								

施策シート【25_01】ー 施策指標

施策名称	ごみ発生抑制を最優先にした４Rの推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
市民1人当たりのごみの排出量	ごみの排出量（一日あたり）／人口	784	785	711	705	g/人･日	循環型社会推進課	-
各年度の実績		724	714			g/人・日	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和6年度の目標値を達成した。 引き続き、４Rの取り組みを推進し、市民一人ひとりの行動変容を促していく。								
【施策指標の分析 R7】 令和7年度の目標値を達成した。 引き続き、４Rの取り組みを推進し、市民一人ひとりの行動変容を促していく。							令和８年度以降の指標目標値について、第２次枚方市一般廃棄物処理基本計画（令和８年３月策定）を踏まえて修正。	

施策シート【25_01】ー 施策指標

施策名称	ごみ発生抑制を最優先にした４Rの推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
ごみの資源化率	ごみを資源化した量／ごみの排出量	19.4	19.4	(市の資源化量 9,737t)	(市の資源化量 9,958t)	%	循環型社会推進課	枚方市一般廃棄物処理基本計画
各年度の実績		17.5	17.0			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和6年度の目標値を達成できなかった。 ごみの排出量が減少していることから、資源物となるごみの排出も減少していることや、ペーパーレス化といったの社会情勢の変化などが影響していると考えられる。								
【施策指標の分析 R7】 令和7年度の目標値を達成できなかった。ペーパーレス化といったの社会情勢の変化などで、資源化できるごみの排出量が減少していることが主な要因と考えられる。 一方で、令和７年度に実施したごみの組成分析調査で、市民が排出する「一般ごみ」（焼却するごみ）の中に、「資源ごみ」として分別して排出してもらえばリサイクルできるごみが20%以上含まれていることがわかった。ごみの分別の徹底を図ることで、資源化量の増加を目指していく。							令和８年度以降の指標について、第２次枚方市一般廃棄物処理基本計画（令和８年３月策定）を踏まえて、市に入ってきたごみをどれだけ資源化できたのかを表す「市の資源化量」へと変更し、市の資源化の取り組みを最大限、評価できる指標とする。	
ごみの焼却量	本市の清掃工場において焼却処理をしたごみの量	89,288	88,844	81,431	80,121	t	循環型社会推進課	枚方市一般廃棄物処理基本計画
各年度の実績		84,051	83,051			t	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和6年度の目標値を達成した。 引き続き、４Rの取り組みを推進し、ごみの焼却量の削減に取り組んでいく。								
【施策指標の分析 R7】 令和7年度の目標値を達成した。 引き続き、４Rの取り組みを推進し、ごみの焼却量の削減に取り組んでいく。							令和８年度以降の指標目標値について、第２次枚方市一般廃棄物処理基本計画（令和８年３月策定）を踏まえて修正。	

施策シート【25_01】ー 施策指標

施策名称	ごみ発生抑制を最優先にした４Rの推進

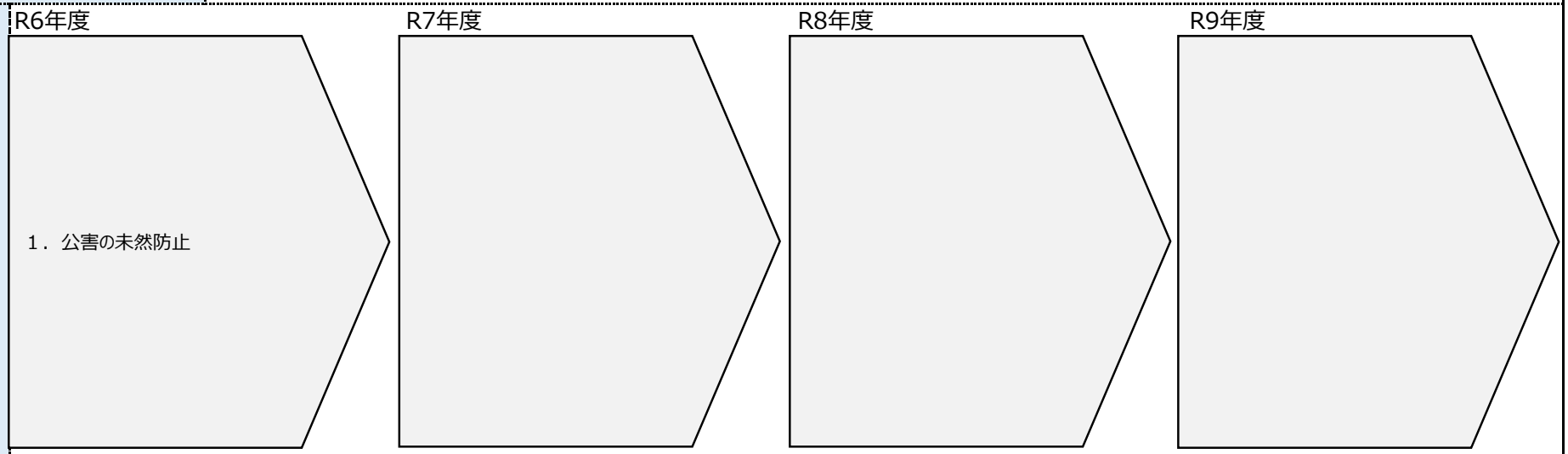
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
最終処分量	焼却灰などを最終処分場で埋め立てた量	10,591	10,649	9,509	9,373	t	循環型社会推進課	枚方市一般廃棄物処理基本計画
各年度の実績		9,782	10,038			t	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和6年度の目標値を達成した。 引き続き、４Rの取り組みを推進し、最終処分量の削減に取り組んでいく。								
【施策指標の分析 R7】 令和7年度の目標値を達成した。 引き続き、４Rの取り組みを推進し、最終処分量の削減に取り組んでいく。							令和８年度以降の指標目標値について、第２次枚方市一般廃棄物処理基本計画（令和８年３月策定）を踏まえて修正。	

施策シート【26_01】

環境部

施策名称	**大気・土壌汚染等の公害の未然防止**	
総合計画体系	基本目標等	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち
	施策目標等	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち
めざす姿（主観的満足度）		安全で良好な生活環境が確保されている
概要		大気・土壌汚染等の郊外の未然防止を図り、良好な生活環境を確保する。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【26_01】－ 具体的な取り組み

環境部

施策名称	大気･土壌汚染等の公害の未然防止

１．公害の未然防止

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市内の大気質の測定及び河川等における水質の測定並びに市内における環境騒音の測定。	･大気汚染測定局（一般局･自排局）での大気汚染物質に係る大気質の測定 ･市内河川等における水質の測定 ･道路沿道及び一般地域における環境騒音の測定	継続	継続	継続	環境指導課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
引き続き、市内の大気質、河川等における水質、環境騒音の測定を行っていく。	・大気汚染測定局で大気汚染物質に係る大気質の測定を行った。 ・市内河川等において水質の測定を行った。 ・道路沿道及び一般地域において環境騒音の測定を行った。	・大気汚染測定局で大気汚染物質に係る大気質の測定を行った。 ・市内河川等において水質の測定を行った。 ・道路沿道及び一般地域において環境騒音の測定を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【26_01】ー 施策指標

施策名称	大気･土壌汚染等の公害の未然防止

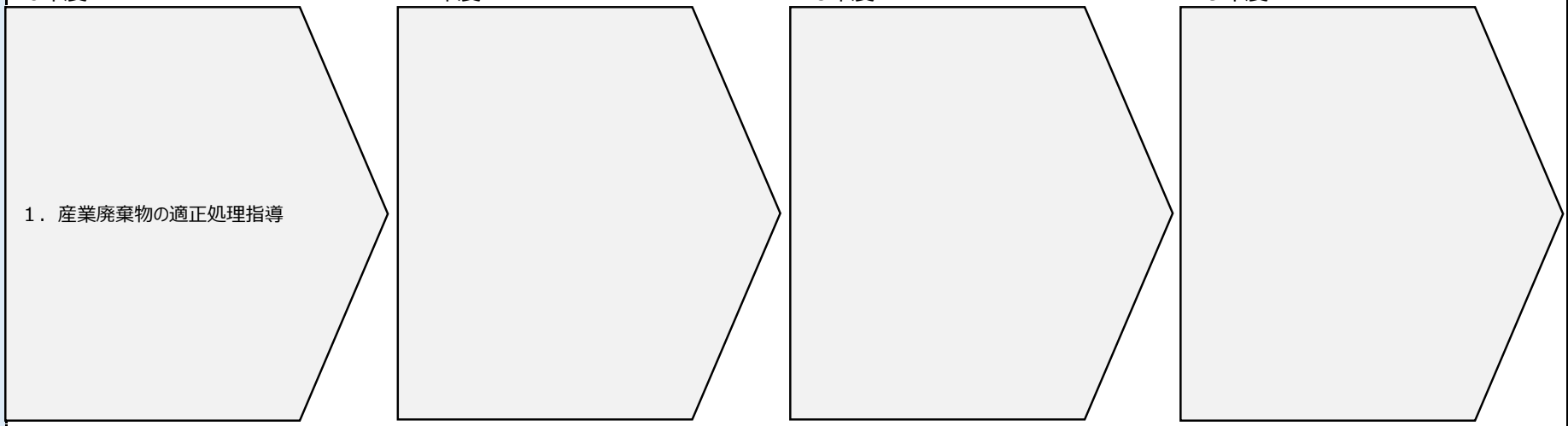
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
環境基準（大気･水質･騒音）の達成状況	環境監視による大気･水質･騒音の環境基準達成度	100	100	100	100	%	環境指導課	1．公害の未然防止
各年度の実績		95.2	95.6			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和６年度の目標値を達成する見込みである。 引き続き、大気･水質･騒音の環境監視に取り組んでいく。								
【施策指標の分析 R7】 令和７年度の目標値を達成する見込みである。 引き続き、大気･水質･騒音の環境監視に取り組んでいく。								

施策シート【26_02】

環境部

施策名称	**産業廃棄物などの発生抑制や適性処理の推進**	
総合計画体系	基本目標等	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち
	施策目標等	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち
めざす姿（主観的満足度）		安全で良好な生活環境が確保されている
概要		産業廃棄物などの発生抑制や適性処理を推進し、良好な生活環境を確保する。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【26_02】ー 具体的な取り組み

環境部

施策名称	産業廃棄物などの発生抑制や適性処理の推進

１．産業廃棄物の適正処理指導

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
産業廃棄物を処理する事業者に対し、法令に従った適正処理の指導を実施。	・産業廃棄物処理業者に対し立入検査を行って適正処理に係る指導 ・排出事業者及びPCB廃棄物保管事業者に対し産業廃棄物の適正処理について指導 ・当該事業を遂行できる人材育成を行う	継続	継続	継続	環境指導課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
引き続き産業廃棄物の適正処理が図られるためには継続した指導が必要である。	全ての産業廃棄物処理業者、PCB廃棄物新規保管事業者に対して立入検査等を行うことで適正処理指導を実施した。	全ての産業廃棄物処理業者、PCB廃棄物新規保管事業者に対して立入検査等を行うことで適正処理指導を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【26_02】ー 施策指標

施策名称	産業廃棄物などの発生抑制や適性処理の推進

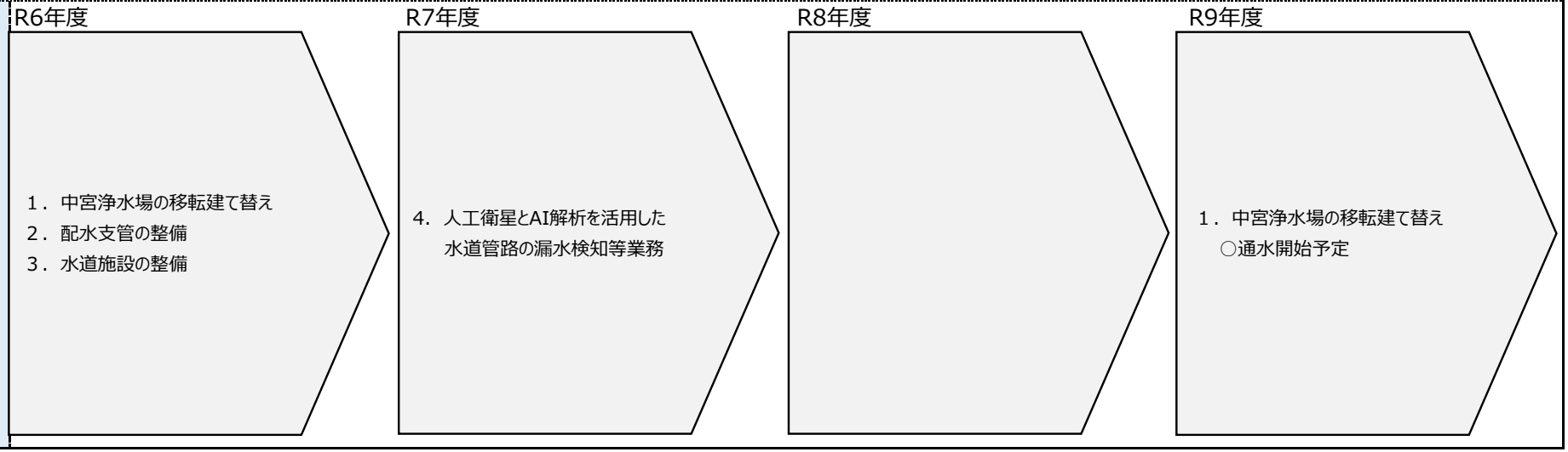
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
産業廃棄物処理業者に対する優良認定の啓発率	産業廃棄物処理業者の全業者に対する優良認定の取得促進のために啓発した割合（算出式：啓発した許可業者数／全許可業者数）	100	100	100	100	%	環境指導課	1．産業廃棄物の適正処理指導
各年度の実績		100	100			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 全ての産業廃棄物処理業者（19社）に対して立入検査を行い、優良認定の啓発を実施したため、目標を達成することができた。								
【施策指標の分析 R7】 全ての産業廃棄物処理業者（18社）に対して立入検査を行い、優良認定の啓発を実施したため、目標を達成することができた。								
全産業廃棄物処理業者に対する立入検査率	産業廃棄物処理の全業者に対する立入検査の割合（算出式：立入検査を行った業者数／全産業廃棄物処理業者）	100	100	100	100	%	環境指導課	1．産業廃棄物の適正処理指導
各年度の実績		100	100			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 全ての産業廃棄物処理業者（19社）に対して立入検査を行ったため、目標を達成することができた。								
【施策指標の分析 R7】 全ての産業廃棄物処理業者（18社）に対して立入検査を行ったため、目標を達成することができた。								

施策シート【26_03】

上下水道部

施策名称	**安全で良質な水を将来にわたって安定的に供給**	
総合計画体系	基本目標等	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち
	施策目標等	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち
めざす姿（主観的満足度）		安全で良好な生活環境が確保されている
概要		市民の生活や産業活動を支えるため、安全で良質な水を将来にわたって安定的に供給する。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【26_03】ー 具体的な取り組み

上下水道部

施策名称	安全で良質な水を将来にわたって安定的に供給

１．中宮浄水場の移転建て替え

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
老朽化が進み耐震性が不足する中宮浄水場の移転建て替えに取り組む。	膜ろ過棟・前処理施設築造	・膜ろ過棟、前処理施設、薬品貯蔵棟、濃縮槽築造 ・プラント工事 ・シールド工事	・濃縮槽築造 ・プラント工事 ・シールド工事 ・外構工事 ・試験運転	・外構工事 ・試験運転 ・通水開始予定	浄水課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
引き続き、老朽化が進み耐震性が不足する中宮浄水場の移転建て替えに取り組む。	膜ろ過棟・前処理施設の築造に取り組んだ。	膜ろ過棟・前処理施設の築造に取り組んだ。 プラント工事及びシールド工事に着手した。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【26_03】ー 具体的な取り組み

上下水道部

施策名称	安全で良質な水を将来にわたって安定的に供給

２．配水支管の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
老朽管路の更新･耐震化	更新による管路の耐震化を実施	継続	継続	継続	上水道工務課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
引き続き「枚方市水道施設整備基本計画」に基づき、管路の更新・耐震化を行い安定した水道水の供給に取り組む。	送配水管更新耐震化工事を実施した。	配水支管更新耐震化工事を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【26_03】ー 具体的な取り組み

上下水道部

施策名称	安全で良質な水を将来にわたって安定的に供給

３．水道施設の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
送配水管を除く水道施設の更新･改良及び耐震化を実施	･磯島取水場更新基本設計 ･妙見山配水池更新基本設計 ･その他施設の更新･改良	妙見山配水池更新実施設計	磯島取水場更新実施設計	妙見山配水池更新工事	浄水課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
引き続き、水道施設の更新・改良及び耐震化に取り組む。	磯島取水場更新基本設計委託及び妙見山配水池更新基本設計委託の契約を締結した。また、田口山配水場受変電設備更新工事を実施した。	磯島取水場更新基本設計委託のうちR7年度に実施する項目及び妙見山配水池更新基本設計委託が完了した。また、高度浄水施設直流電源装置他更新工事を実施した。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【26_03】－ 具体的な取り組み

上下水道部

施策名称	安全で良質な水を将来にわたって安定的に供給

４．人工衛星とAI解析を活用した水道管路の漏水検知等の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
デジタル技術の導入を進め効率的に維持管理を実施	－	・衛星画像を用いた漏水検知業務委託 ・路面音聴業務委託	・路面音聴業務委託 ・【既存事業】漏水修繕を実施（直営・委託・請負）	・路面音聴業務委託 ・【既存事業】漏水修繕を実施（直営・委託・請負）	上下水道政策課 上水道保全課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
令和７年度から衛星画像を利用し、漏水の可能性があるエリアを選出し、漏水検知を実施する。	令和７年度衛星画像を用いた漏水検知業務実施に向けた準備	衛星画像を用いた漏水検知業務委託を実施し、その結果に基づき、緊急輸送道路下と市南部地域を対象に音聴調査を実施した。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【26_03】ー 施策指標

上下水道部

施策名称	安全で良質な水を将来にわたって安定的に供給

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
耐震性能を有する浄水施設の割合	耐震対策の施された浄水施設能力／全浄水施設能力	0	0	0	84.6	%	浄水課	1．中宮浄水場の移転建て替え
各年度の実績		0	0			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和9年度の工事完成をめざし、膜ろ過棟・前処理施設の築造に取り組んでいるため、令和6年度末の浄水施設の耐震化率は０％である。								
【施策指標の分析 R7】 令和9年度の工事完成をめざし、膜ろ過棟・前処理施設の築造に取り組んでいるため、令和7年度末の浄水施設の耐震化率は０％である。								
中宮浄水場更新事業　工事進捗率	工事進捗率（出来高率）	15	28	60	100	%	浄水課	1．中宮浄水場の移転建て替え
各年度の実績		ー	25			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 ―								
【施策指標の分析 R7】 当初の予定出来高に満たないものの概ね順調に工事を進めた。								

施策シート【26_03】ー 施策指標

上下水道部

施策名称	安全で良質な水を将来にわたって安定的に供給

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
耐震性能を有する水道管路の割合	耐震性能を有する水道支管路延長距離／水道支管路延長距離	29.5	29.9	30.2	30.6	%	上水道工務課	2．配水支管の整備
各年度の実績		29.6	30.2			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 他企業と競合する一部事業については、事業間調整により次年度繰越となったものの、指標については目標通り達成できた。								
【施策指標の分析 R7】 他企業と競合する一部事業については、事業間調整により次年度繰越となったものの、指標については目標通り達成できた。								

施策シート【26_03】ー 施策指標

上下水道部

施策名称	安全で良質な水を将来にわたって安定的に供給

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
水道施設（送配水管を除く）の更新等実施件数	水道施設（送配水管を除く）の更新・改良及び耐震化に係る事業（設計・工事）実施件数	6	6	9	10	件数	浄水課	3．水道施設の整備
各年度の実績		5	6			件数	備考	
【施策指標の分析 R6】 入札不調のため1件は契約に至らなかった。								
【施策指標の分析 R7】 当初の予定通り、水道施設の更新を実施した。								

施策シート【26_03】ー 施策指標

上下水道部

施策名称	安全で良質な水を将来にわたって安定的に供給

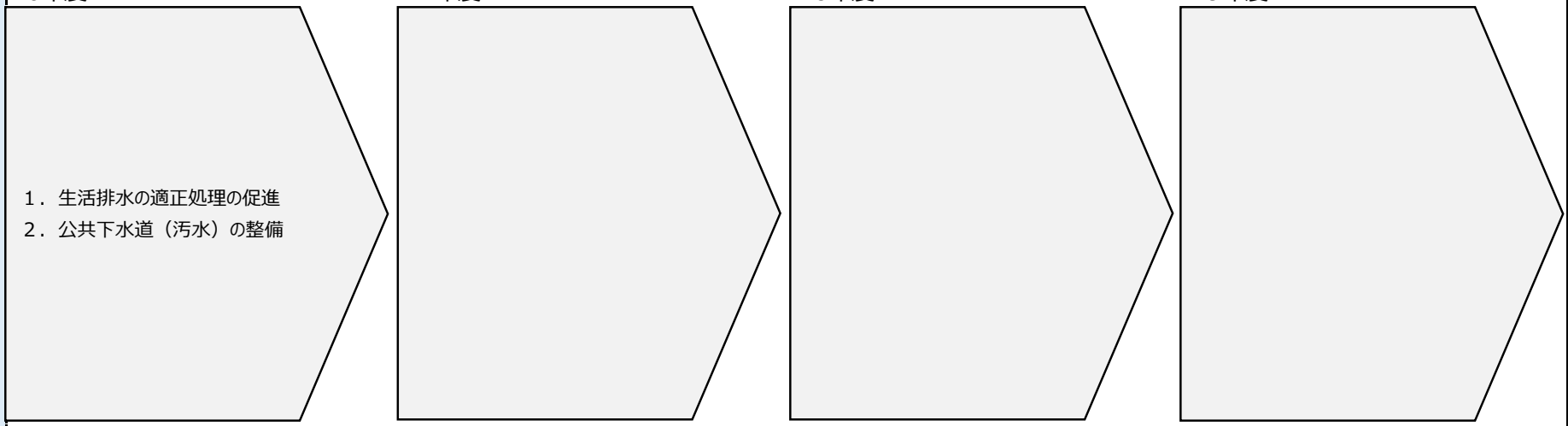
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
緊急工事回数	市民からの通報等により緊急で工事した回数	ー	4	2	2	回	上水道保全課	4．人工衛星とAI解析を活用した水道管路の漏水検知等業務
各年度の実績		ー	2			回	備考	
【施策指標の分析 R6】 ―								
【施策指標の分析 R7】 目標は達成したので、今後も関係機関と協議も進めながら目標達成に向けた活用に取り組んでいく。								

施策シート【26_04】

保健所、環境部、上下水道部

施策名称	**生活排水等の適正処理**	
総合計画体系	基本目標等	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち
	施策目標等	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち
めざす姿（主観的満足度）		安全で良好な生活環境が確保されている
概要		河川や水路、池などの水質汚濁の防止を図るために、公共下水道の整備を促進するとともに生活排水等の適正処理を進める。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【26_04】－ 具体的な取り組み

保健所、環境部、上下水道部

施策名称	生活排水等の適正処理

１．生活排水の適正処理の促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
公共下水道の整備を推進するとともに、公共下水道整備計画区域外においては、合併処理浄化槽による生活排水の適正処理を推進。	・公共下水道の整備及び接続の推進 ・浄化槽による適正処理の推進 ・市民に対する啓発活動	継続	継続	継続	保健衛生課、環境事業課、穂谷川資源循環センター、環境指導課、上下水道政策課、下水道管理課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・公共下水道の老朽化した管渠などの適切な維持管理を行うとともに、浄化槽の維持管理が適正に実施されるよう指導・啓発に取り組む。 ・引き続き、一般廃棄物処理計画及び下水道事業各種計画に基づき生活排水の適正処理を推進する。	・整備により公共下水道処理区域を増加した。 ・下水道未接続家庭への下水道接続を啓発した。 ・広報ひらかたを活用して、下水道接続や合併浄化槽設置等の生活排水適正処理に関する啓発を実施した。 ・水環境学習会や生活排水の適正処理に関するパネル展示を実施した。	・整備により公共下水道処理区域を増加した。 ・下水道未接続家庭への下水道接続を啓発した。 ・広報ひらかたを活用して、下水道接続や合併浄化槽設置等の生活排水適正処理に関する啓発を実施した。 ・水環境学習会や生活排水の適正処理に関するパネル展示を実施した。			
年度ごとの達成状況	○	◎			

施策シート【26_04】－ 具体的な取り組み

保健所、環境部、上下水道部

施策名称	生活排水等の適正処理

２．公共下水道（汚水）の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
整備済み区域内に点在する未承諾地区や整備困難地区の解消に取り組みます。	公共下水道（汚水）の整備	継続	継続	継続	上下水道政策課、下水道整備課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
杉責谷1丁目他4地区において、公共下水道工事を行い、内1地区において工程に遅れが生じ、繰越となった。今後は、早期完成に向け取り組みます。	・杉責谷1丁目他3地区において公共下水道への接続が可能となった。	東香里2丁目他1地区において公共下水道への接続が可能となった。			
年度ごとの達成状況	◯	◯			

施策シート【26_04】－ 施策指標

保健所、環境部、上下水道部

施策名称	生活排水等の適正処理

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
生活排水の適正処理率	生活排水の処理人口（公共下水道接続人口＋合併処理浄化槽処理人口等）／行政人口	98.5	98.6	99.2	99.4	%	循環型社会推進課	１．生活排水の適正処理の促進
各年度の実績		99.2	99.3			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和６年度の目標値を達成した。 引き続き、生活排水の適正処理を推進に取り組んでいく。								
【施策指標の分析 R7】 一般廃棄物処理基本計画における生活排水の処理の目標である、令和７年度の生活排水適正処理率の目標値を達成する見込み。 引き続き、生活排水の適正処理を推進に取り組んでいく。							令和８年度以降の指標目標値について、第２次枚方市一般廃棄物処理基本計画（令和８年３月策定）を踏まえて修正。	

施策シート【26_04】－ 施策指標

保健所、環境部、上下水道部

施策名称	生活排水等の適正処理

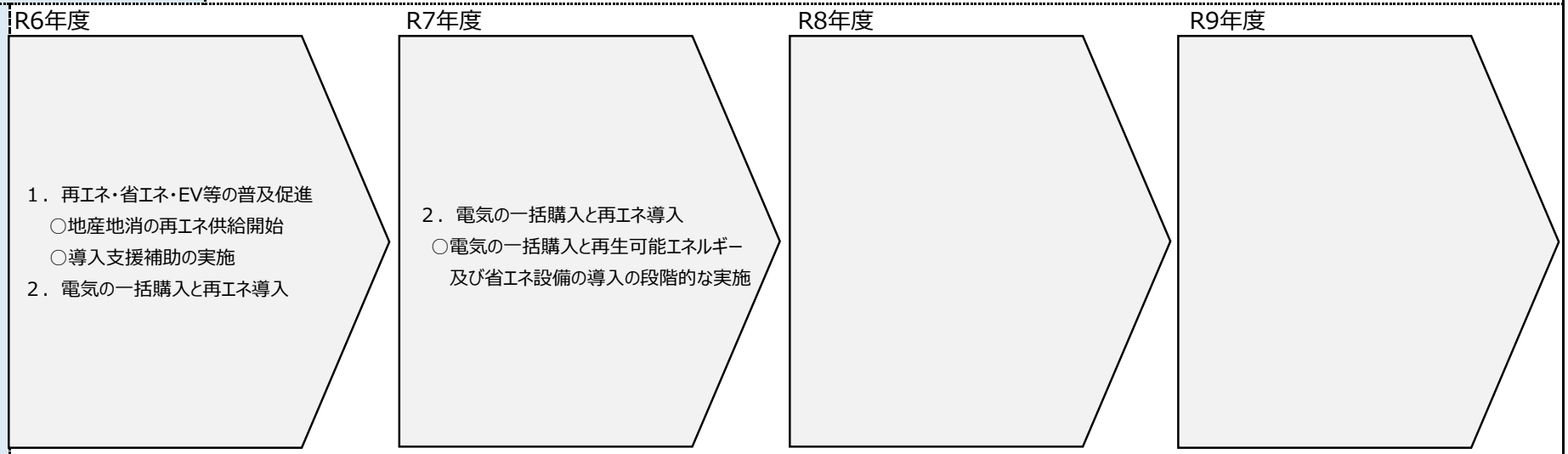
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
公共下水道（汚水）の人口普及率	公共下水道整備人口／行政人口	97.6	97.6	97.7	97.8	%	上下水道政策課、下水道整備課	2．公共下水道（汚水）の整備
各年度の実績		97.9	98.0			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 概ね順調に取り組みを進めることができた。								
【施策指標の分析 R7】 概ね順調に取り組みを進めることができた。								

施策シート【27_01】

環境部

施策名称	**ゼロカーボンシティの推進**	
総合計画体系	基本目標等	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち
	施策目標等	27.地球温暖化対策に取り組むまち
めざす姿（主観的満足度）		地球温暖化の取り組みが進んでいる
概要		再生可能エネルギーの利用拡大、環境教育・学習の推進、省エネルギーの推進を図る。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【27_01】－ 具体的な取り組み

環境部

施策名称	ゼロカーボンシティの推進

１．再エネ･省エネ･EV等の普及促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ため池等を活用した再エネ導入のモデルを示すとともに、二酸化炭素排出量の削減に繋がる再エネ・省エネ・EV等の取り組みに対して補助金を交付。	・太陽光発電設置工事を実施し、地産地消の再エネ供給開始（モデル事業） ・再エネ・省エネ・EV等の導入支援補助の実施	継続	継続	継続	環境政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・ため池等を活用した再エネ導入をモデルに、再エネの地産地消が拡大するように取り組みを推進する。 ・重点対策加速化事業の計画期間である令和10年度まで継続して補助を実施し、補助事業終了後も地域脱炭素の取り組みが拡がるよう意識醸成を図る。	・招提新大池・今池にフロート型大型太陽光発電設備を設置し発電した電気をひらかたパークとくずはモールに供給開始 ・重点対策加速化事業を活用したひらかたゼロカーボン推進補助金事業を実施した。	・市内３池においてため池を活用した再生可能エネルギーの地産地消の取り組みに関する協定を締結 ・重点対策加速化事業を活用したひらかたゼロカーボン推進補助金事業を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【27_01】－ 具体的な取り組み

環境部

施策名称	ゼロカーボンシティの推進

２．電気の一括購入と再エネ導入

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
各施設の電気購入契約期間を統一化するとともに、契約を一本化。令和５年度に実施した「公共施設への再エネ設備導入可能性調査」の結果などをもとに、様々な再エネ導入手法や省エネ化の検討を行い、スケールメリットを活かした電気の一括購入と再生可能エネルギー・省エネ設備の導入などを一体的に実施。	・再生可能エネルギー導入 ・エネルギーマネジメント ・省エネ改修と電気の一括購入に向けた検討と事業者の選定	電気の一括購入と再生可能エネルギー及び省エネ設備の導入の段階的な実施	継続	継続	環境政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・省エネ設備の導入としてLED改修を各対象施設所管課と調整の上、順次実施していく。 ・令和９年度のPPAによる太陽光発電導入に向けて検討等を進める。	事業実施に向けたサウンディング調査を実施(7事業者参加)。太陽光発電設備の可能性調査等を踏まえ、「電気の一括購入」「太陽光設置（PPA）」「LED改修」を一体のものとしてプロポーザル方式による公募を行い、附属機関の審査を経て事業者を選定した。	・省エネ設備の導入としてLED改修を７施設について実施した。 ・令和９年度のPPAによる太陽光発電導入に向けて検討等を進めた。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【27_01】ー 施策指標

施策名称	ゼロカーボンシティの推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
市域から排出される温室効果ガス排出量の削減率（2013年度比）	平成25（2013）年度比の市域から排出される温室効果ガス排出量の削減率	25.4 [R4年度実績]	28.1 [R5年度実績]	30.8 [R6年度実績]	33.5 [R7年度実績]	%	環境政策課	1．再エネ・省エネ・EV等の普及促進
各年度の実績		22.5	25.1			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 電気の使用から排出される二酸化炭素の排出係数が、目標の設定時に想定していた数値よりも大きく増加したことが目標未達成の主な要因と考えられる。								
【施策指標の分析 R7】 電気のエネルギー消費量は前年度に比べて減少しているものの、電気の使用から排出される二酸化炭素の排出係数が、目標の設定時に想定していた数値よりも大きく増加したことが目標未達成の主な要因と考えられる。								
市域から排出される温室効果ガス排出量の削減率（2020年度比）	令和２（2020）年度比の市域から排出される温室効果ガス排出量の削減率	6.8 [R4年度実績]	10.1 [R5年度実績]	13.5 [R6年度実績]	16.9 [R7年度実績]	%	環境政策課	1．再エネ・省エネ・EV等の普及促進
各年度の実績		3.1	6.4			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 電気の使用から排出される二酸化炭素の排出係数が、目標の設定時に想定していた数値よりも大きく増加したことが目標未達成の主な要因と考えられる。								
【施策指標の分析 R7】 電気のエネルギー消費量は前年度に比べて減少しているものの、電気の使用から排出される二酸化炭素の排出係数が、目標の設定時に想定していた数値よりも大きく増加したことが目標未達成の主な要因と考えられる。								

施策シート【27_01】ー 施策指標

施策名称	ゼロカーボンシティの推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
家庭部門における温室効果ガス排出量の削減率（2013年度比）	基準年度（平成25(2013)年度）比の家庭部門における温室効果ガス排出量の削減率	35.5 [R4年度実績]	39.3 [R5年度実績]	43.2 [R6年度実績]	47.0 [R7年度実績]	%	環境政策課	1．再エネ・省エネ・EV等の普及促進
各年度の実績		27.8	30			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 電気の使用から排出される二酸化炭素の排出係数が、目標の設定時に想定していた数値よりも大きく増加したこと、及び電気のエネルギー消費量が増加したことが目標未達成の主な要因と考えられる。								
【施策指標の分析 R7】 電気のエネルギー消費量は前年度に比べて減少しているものの、電気の使用から排出される二酸化炭素の排出係数が、目標の設定時に想定していた数値よりも大きく増加したことが目標未達成の主な要因と考えられる。								
家庭部門における温室効果ガス排出量の削減率（2020年度比）	令和２（2020）年度比の家庭部門における温室効果ガス排出量の削減率	10.7 [R4年度実績]	16.0 [R5年度実績]	21.3 [R6年度実績]	26.7 [R7年度実績]	%	環境政策課	1．再エネ・省エネ・EV等の普及促進
各年度の実績		0.0	3.1			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 電気の使用から排出される二酸化炭素の排出係数が、、目標の設定時に想定していた数値よりも大きく増加したこと、及び電気のエネルギー消費量が増加したことが目標未達成の主な要因と考えられる。								
【施策指標の分析 R7】 電気のエネルギー消費量は前年度に比べて減少しているものの、電気の使用から排出される二酸化炭素の排出係数が、目標の設定時に想定していた数値よりも大きく増加したことが目標未達成の主な要因と考えられる。								

施策シート【27_01】ー 施策指標

施策名称	ゼロカーボンシティの推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
市有建築物等における太陽光発電容量	市有建築物等における太陽光発電の総出力	1,421	1,546	1,671	1,796	kW	環境政策課	２．電気の一括購入と既存施設への再エネ導入
各年度の実績		1,171	5,943			kW	備考	
【施策指標の分析 R6】 市有建築物への太陽光発電設備の導入に向けて、附属機関の審査を経て、事業者を選定した。								
【施策指標の分析 R7】 市有建築物への太陽光発電設備の導入に向けて、R6年度に選定した事業者と協議を行った。								

施策シート【27_01】ー 施策指標

施策名称	ゼロカーボンシティの推進

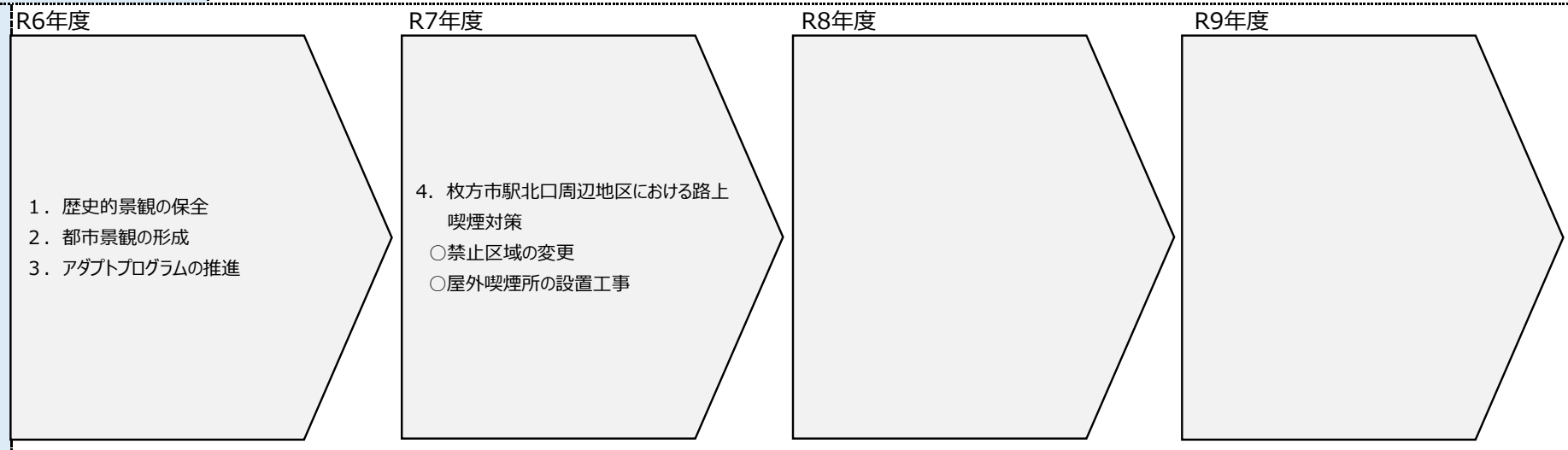
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
令和12(2030)年度までに温室効果ガス総排出量を平成25(2013)年度比で51%以上削減	平成25（2013）年度比の市の事務事業から排出される温室効果ガス排出量の削減率 【削減量（※市の事務事業）/基準年度における市の事務事業に係る温室効果ガス排出量】	39.7	42.1	44.0	46.2	%	環境政策課	枚方市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）
各年度の実績		17.2	44.4			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 温室効果ガス排出量の約８割を占める電気の使用から排出される二酸化炭素の排出係数が、目標の設定時に想定していた数値よりも大きく増加したこと、市内の全小中学校の体育館に空調施設が整備されたことにより、都市ガスの使用量が増加したことが目標未達成の主な要因です。								
【施策指標の分析 R7】 「効率的なエネルギー調達と再生可能エネルギー導入」に基づく取り組みにより、二酸化炭素排出量が実質ゼロの再生可能エネルギー由来の電気が導入され、電気使用量全体の約41%が再エネ由来電力に切り替わったことが主な要因です。								

施策シート【28_01】

環境部、都市整備部、土木部

施策名称	**景観に配慮した美しいまち並みの形成**	
総合計画体系	基本目標等	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち
	施策目標等	28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち
めざす姿（主観的満足度）		まちの美化が進んでいる
概要		道路・公園等の美化活動の促進、歴史的景観の保全、地域特性に応じた魅力あふれる景観づくりを図る。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【28_01】ー 具体的な取り組み

環境部、都市整備部、土木部

施策名称	景観に配慮した美しいまち並みの形成

１．歴史的景観の保全

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
歴史的な街並み景観の保全のため街道沿いに残された貴重な町家の保全や、一般の建物の歴史的な修景について建物所有者等と調整を行い、建造物等の外観等の修復、復元等に要する経費の一部を助成。	修景補助金を交付	継続	・修景補助金を交付 ・社会資本総合整備計画の次期計画の提出	修景補助金を交付	住宅まちづくり課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
修景補助に関する周知が十分ではないため、改訂した修景ガイドライン等を活用した修景補助の更なる周知を行う必要がある。	・修景助成の周知に活用するため、修景ガイドラインの改訂やリーフレットの作成を行った。	・修景助成の更なる周知のため、ポスティングによるリーフレットの配布を行った。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【28_01】ー 具体的な取り組み

環境部、都市整備部、土木部

施策名称	景観に配慮した美しいまち並みの形成

２．都市景観の形成

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
景観法、屋外広告物法を活用し、市民や事業者とともに地域の特性を生かした良好なまち並み形成を図るため、一定規模以上の建築物等や歴史的な街並み等の景観誘導を実施。	・一定規模以上の建築物等の景観誘導 ・景観アドバイザー制度の活用を促し、良好な景観形成のための助言を行う	継続	継続	継続	住宅まちづくり課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
できるだけ早い設計段階で景観アドバイザー制度の活用ができるよう、本制度の更なる周知を行う必要がある。	・開発事業等に伴う事前協議などに合わせて、景観アドバイザー制度の活用を案内した。	・開発事業等に伴う事前協議などに合わせて、景観アドバイザー制度の活用を案内した。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【28_01】ー 具体的な取り組み

環境部、都市整備部、土木部

施策名称	景観に配慮した美しいまち並みの形成

３．アダプトプログラムの推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
まちの環境美化を進めるため、市が管理する道路や公園・緑地等の公共場所において、美化活動に取り組む市民団体や企業に対して協定に基づく支援を実施。	地域清掃（美化）活動に対し、ごみ袋の配布やごみの収集の支援を実施	継続	継続	継続	環境事業課、公園みどり課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・引き続きアダプト団体へ支援を行う。 ・各団体の高齢化が進み人員も減少している現状において、引き続き、花苗配布等の更なる活動支援に取り組む。	・アダプト団体への清掃用具の提供及び排出されたごみの収集・処分等を実施した。 【環境事業課分】 ごみ袋の配布2170枚、清掃用具等の提供433個、ごみ回収581件（2590袋） ・ごみ袋の配布やごみの収集の支援を実施した。 清掃用具やごみ袋の配布145件、ごみ回収524件。	・ごみ袋の配布やごみの収集の支援を実施した。 ・アダプト団体への清掃用具の提供及び排出されたごみの収集を実施した。 【環境事業課分】 ごみ袋の配布2860枚、清掃用具等の提供305個、ごみ回収485件（2229袋） 【公園みどり課分】 ごみ袋の配布8410枚、清掃用具等の提供38個、ごみ回収453件。 ・花苗の配付として延べ180箇所に20576株の配付を行なった。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【28_01】－ 具体的な取り組み

環境部、都市整備部、土木部

施策名称	景観に配慮した美しいまち並みの形成

4. 枚方市駅北口周辺地区における路上喫煙対策

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市街地再開発事業の完成に併せて、路上喫煙禁止区域の追加・拡大の検討。 ・枚方市駅北口周辺エリアに屋外喫煙所を設置	－	禁止区域の変更 屋外喫煙所の設置工事	啓発活動 屋外喫煙所の維持管理	啓発活動 屋外喫煙所の維持管理	環境政策課 市駅周辺まち活性化部 保健医療課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
枚方市駅北口についてたばこのポイ捨てを抑制するため、屋外喫煙所を設置するとともに、路上喫煙禁止区域の再検討を行う。	屋外喫煙所設置候補地の土地所有者及びたばこ事業者との協議を行った。	たばこ事業者からの屋外喫煙所の寄附は延期となったが、引き続き喫煙所の設置に向けて関係者と協議を行った。			
年度ごとの達成状況	○	△			

施策シート【28_01】ー 施策指標

環境部、都市整備部、土木部

施策名称	景観に配慮した美しいまち並みの形成

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
修景補助を受けた建物の件数（累計）	歴史的景観保全地区において市からの修景補助を受けた建物修景件数（累計）	58	60	62	64	件	住宅まちづくり課	1．歴史的景観の保全
各年度の実績		55	55			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 修景補助に関する相談が限定的であったため目標値を達成しなかった。今後、目標達成に向けて改訂した修景ガイドライン等を活用した修景補助の周知に取り組んでいく。								
【施策指標の分析 R7】 修景補助に関する相談が限定的であったため目標値を達成しなかった。引き続き、目標達成に向けて修景ガイドラインの活用やリーフレットの配布など、修景補助の周知に取り組んでいく。								

施策シート【28_01】ー 施策指標

環境部、都市整備部、土木部

施策名称	景観に配慮した美しいまち並みの形成

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
景観アドバイザーより助言を受けた件数（累計）	建築等に関する計画を進める際に、景観アドバイザーより助言を受けた件数（累計）	38	41	44	47	件	住宅まちづくり課	2．都市景観の形成
各年度の実績		38	39			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 今後も景観アドバイザー制度の更なる周知に取り組んでいく。								
【施策指標の分析 R7】 景観計画の運用に係るてびきやガイドラインを検討する中で、景観アドバイザー制度の案内を盛り込むなど、今後も更なる制度の周知に取り組んでいく。								

施策シート【28_01】ー 施策指標

環境部、都市整備部、土木部

施策名称	景観に配慮した美しいまち並みの形成

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
継続して環境美化活動を行う市民団体数	公共場所（駅前・道路・公園等）の美化活動を行う市民活動団体（アダプトプログラム登録団体)数	242 285 (公園アダプト団体数)	244 286 (公園アダプト団体数)	246 287 (公園アダプト団体数)	248 288 (公園アダプト団体数)	活動団体数	環境事業課、公園みどり課	3．アダプトプログラムの推進
各年度の実績		(環境)62 (土木)175	(環境）54 (土木）173			活動団体数	備考	
【施策指標の分析 R6】 ・（環境）企業撤退及び高齢化により、登録団体は減少傾向にある。 ・（土木）登録団体数が前年度171団体から令和6年度は175団体に増加した。団体活動の機運醸成を図るべく、緑化講習会への参加を促す。								
【施策指標の分析 R7】 ・（環境）企業撤退及び高齢化により、登録団体は減少傾向にある。 ・（土木）団体登録数が前年度175団体から173団体に減少した。団体活動の機運醸成を図るため緑化講習会等の参加を促す。								

施策シート【28_01】－ 施策指標

環境部、都市整備部、土木部

施策名称	景観に配慮した美しいまち並みの形成

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
枚方市駅周辺の路上喫煙禁止区域内にポイ捨てされたたばこの本数（拡大エリアを含む）	枚方市駅周辺の路上喫煙禁止区域内にポイ捨てされたたばこの本数	－	224	135	112	本	環境政策課	4．枚方市駅北口周辺地区における路上喫煙対策
各年度の実績		－	327			本	備考	
【施策指標の分析 R6】 －								
【施策指標の分析 R7】 屋外喫煙所の設置が延期となったため目標は未達成となった。今後も引き続き、設置に向けて関係者と協議を行っていく。								